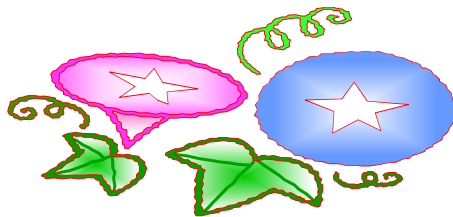


# 南筑後外国語教育研究サークル 8月特別講座稲岡先生 学習会報告

2013. 8. 12



南筑後外国語教育研究サークル  
会長 柳川市立三橋中学校 校長 境 宏文

夏休みにもかかわらず、管内だけでなく、福岡県内外から多数の参加で、あわせて80名の皆さんとともにスーパーティーチャー稲岡先生の授業の極意を聞かせていただきました。

## ～生徒の力を最大限に引き出す

## ゴールを明確にした授業づくりの実際～

### いつも意識して授業に臨むもの

「コミュニケーションに対する態度や能力の育成」

具体的には ①**クラスコミュニティ**を育てる

例えば一人の発表を大切にする

②**自分の英語(言葉)**を使う機会を持たせる

手ほどきをして、一番おいしいところは生徒に。

● **Chants** ● 稲岡先生の授業では必ず登場する Chants。文法導入に使ったり、発音指導に使ったり、単なる帯授業ではなく4技能と関連づけながら、意図的に仕組まれた Chants 指導です。例えば What time do you get up?.....I get up at five. という Chants の中でも、"Wow! That's early." という相手の話題に反応するコミュニケーション活動が入っています。これは Good Listener の育成へとつながっていきます。

● **ペア活動** ● ペア活動をふんだんに取り入れた授業

### 「いきいきとしたペア活動とは」

① **みんなで活動している**

互いに確かめ合い、励まし合い、高め合っている。

② **表情豊かで楽しそう**

対面する相手の表情が見えるように、向かい合う。

③ **相手を思いやっている**

その場の状況にあった言葉を選びながら活動する。

④ **学んだことを積極的にやっている**

⑤ **質問ができる** 例えば: Excuse me, Ms. Inaoka

⑥ **隣のペアなどの対話を聞いて学ぶ**

先生を待たずに自分たちで解決できる。＝自立を助ける



このようなモデルはいつ与える？

教師自身が英語の使い手として、**授業すべてがモデルとなる。**

● **[授業VTR視聴] 1年生 can の導入** ●

～参加者の3人1組で、①教師 ②生徒 ③教材 に視点をあててVTRを見て、分析～

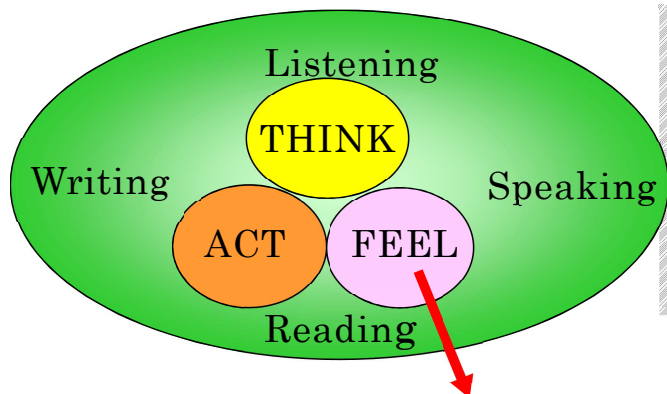
文法説明以外はほとんど全て英語での授業です。どの活動も無駄がなく、着実にゴールへと導いていく細やかな指導が、1時間の授業の中で1本の線のようにつながっていく。それは、やがて単元・1年間・そして卒業へ向けてと徐々に太い線へとつながっていくであろう。

# 稲岡先生が大切にされているもの

一番大切なことは 生徒と一緒に授業を進めていくこと  
教師も生徒も、自分の個性や創造性を大切にして、授業づくりを・・・

今日の授業は次への授業へ

振り返りながら +  $\alpha$  thinking でプランを練り直す。



特に稲岡先生が大事にされてある

## Teacher's Spirit of Love (生徒とつながりを持つ教師)

- L**・・・ Look and Listen to every student carefully.
- O**・・・ Open-mind to understand every student more.
- V**・・・ Volunteer to help every student have confident.
- E**・・・ Enjoy the class together.

話しを聞いて、クラスマネージメントがとても大切だと感じました。学級の学習する雰囲気、仲間があつてからこそ、効果的な学び合いができるのだと思いました。生徒同士の関係、生徒とつながりある教師、授業を通してそういう素晴らしい関係ができるのだ、心がけていきたいと思いました。goal を明確にして、それに向かって近づいていくステップを仕組んでいくことが大切だと思いました。家で、自分で復習できるまでに、授業でしっかり仕組む(つなげる)ことが必要だと思いました。2学期、Think, Act の後の、Feel の活動を大切にしていきたい。

最終的なゴールとされているのが、子どもにコミュニケーションをとることができる力を身につけさせることなのだと思います。それをできるようにするために、文法の導入の段階で、子ども達に場面や内容に気付かせる場面をきちんと位置づけ、口頭練習をしながら書く活動でまとめていくという丁寧なステップを踏んであることが大変勉強になりました。4技能の総合が目的ではなく、あくまで手立てとして行っているのだと感じました。コミュニケーション能力を身につけるために必要な「読む」「書く」「聞く」「話す」ことを通して、つける力を前もって見通して授業をすすめてあることがよくわかりました。稲岡先生の話はとてもわかりやすく、また、とても力強いもので、明日からの実践に生かしていきたいと思いました。

### 参加された先生の声

授業はテンポがよく、教育技術にあふれていてすばらしかったです。先生の人柄、考え方が隔々に行き渡っていて、誰もが生き生きと授業を受けていたことがよくわかります。この3時間の研修も、まさにそういう時間でした。一言一言に意味があつて、大変勉強になりました。

稲岡先生の一言一言が、心に響きました。

生徒の自己肯定感をあげるのと同様に、私達の自己肯定感もあげていただいているようでした。貴重なお話を活かせるよう頑張りたいと思います。

チャンツなど、自分の授業であまり実践したことがなく、今日先生からお話を伺って、私も是非やってみたいと思いました。今日の講演会をきっかけに自分も勉強し、しっかりと知識を身につけ、授業で行いたいと思います。一つ一つの活動が次の活動につながるようになっていきたい。そのように組み立てる必要があるとあらためて感じました。

稲岡先生のお話が聞けてよかったです。稲岡先生の実践だけでなく、それを支えている理念を聞くことができたのが大きかったです。

「全力」の捉え方が、自分の中でクリアになりました。今まで、力みすぎている部分を少し力抜いて、子ども達と一緒にこんなことをやりたい！できるようになりたい！そこにしっかり「全力」を注ぎたいと思える講演でした。自分の笑顔と子ども達の笑顔があふれる授業を作っていきたい。

VTRはテンポの良い授業をされていて、生徒がそれについてきている姿を見て、驚きました。授業の中でたくさん英語を使って、生徒が「使いたい」と思わせる工夫を知ることができました。2学期からの授業づくりに生かしていきたいと思うことがたくさんありました。

授業の実際のビデオを見せていただき、自然に can を理解し、使い方を身につけていく生徒の姿に驚きました。私達の工夫次第で生徒の力をどんどん引き出すことができるのだと、改めて思いました。

中学校での活動が中心でしたが、とても勉強になりました。学習指導要領に則った高校の授業での参考にしたいと思います。特に、発話の練習から writing の練習につなげる授業の流れや、生徒の気付きを大事にした授業は、これから取り入れていきたいと思っています。